



決算説明補足資料

—2018年11月期—

株式会社ラクト・ジャパン

目次

1. 連結業績概要 P. 2
2. 事業別売上高および販売数量推移 P. 3
3. 連結貸借対照表 P. 4
4. 連結業績予想（2019年11月期予想） P. 5

■ 参考資料

- ・ 当社の為替リスクと会計上の表示について
- ・ 売買取引のイメージ（為替の影響）

1. 連結業績概要



(単位：百万円)

	2017年 11月期	2018年11月期			2019年 11月期
		実績	対前年 同四半期比 増減額	対前年 同四半期比 増減率(%)	
連結売上高	101,334	115,440	+14,105	+13.9	125,200
経常利益	2,522	2,612	+90	+3.6	2,800
売上高経常利益率(%)	2.5	2.3	△0.2	-	2.2
(経常利益に含まれる為替影響額※)	(+396)	(△59)	(△456)	-	-
親会社株主に帰属する 四半期(当期)純利益	1,755	1,784	+29	+1.7	1,930
売上高当期純利益率(%)	1.7	1.5	△0.2	-	1.5
一株当たり四半期 (当期)純利益(円)	358.96	364.62	+5.66		394.16
為替レート(円/USD)	112.43	110.47	△1.96		-
為替レート(円/EURO)	125.71	130.91	+5.20		-

(財務数値の表示は端数切り捨て)

※経常利益に含まれる為替影響額：当社は外貨為替会計処理基準における原則法を採用しているため、為替ヘッジの影響が売上原価と営業外損益の両方に計上されます。そのため売上原価と営業外損益両方に対する為替ヘッジの影響額を記載しております(詳細はP5以降の参考資料をご覧ください。)

2. 事業別売上高および販売数量推移

	2017年11月期				2018年11月期				2019年 11月期
	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q	3Q	4Q	年間予想
事業別売上高	(単位：百万円)								
乳原料・チーズ	13,573	16,349	19,276	20,821	21,972	21,839	21,856	19,621	92,270
食肉加工品	4,301	4,087	3,520	3,345	3,337	3,279	2,990	2,969	15,320
アジア-乳原料販売	3,253	3,627	2,895	3,574	3,436	3,866	3,128	4,147	14,330
アジア-チーズ製造販売	453	437	482	547	499	498	554	564	2,380
その他	197	201	194	201	216	218	248	195	900
売上高合計	21,777	24,701	26,368	28,488	29,461	29,703	28,778	27,497	125,200

事業別販売数量

(単位：MT)

乳原料・チーズ	35,772	39,795	47,729	49,589	53,509	50,658	50,149	44,127	209,320
食肉加工品	7,492	7,085	6,030	5,742	5,789	5,576	5,138	5,090	26,260
アジア-乳原料販売	10,847	12,258	10,068	11,841	11,977	14,454	11,977	14,412	54,700
アジア-チーズ製造販売	615	560	631	703	643	646	660	718	3,100

(数値の表示は端数切り捨て)

3. 連結貸借対照表

(単位：百万円)

	2017年11月末	2018年11月末	増減額
流動資産	43,491	46,438	2,947
現金及び預金	4,006	4,929	923
受取手形及び売掛金	17,198	15,873	△1,325
棚卸資産	21,446	25,216	3,769
流動資産その他	839	419	△420
固定資産	2,413	2,553	139
有形固定資産	559	597	37
無形固定資産	20	39	18
投資その他の資産	1,833	1,917	83
資産合計	45,905	48,992	3,086
買掛金	11,411	11,173	△237
有利子負債	19,778	20,948	1,170
負債その他	1,929	2,437	507
負債合計	33,120	34,560	1,440
純資産	12,785	14,431	1,646
負債・純資産合計	45,905	48,992	3,086

■ 主な増減要因

- 棚卸資産の増加
販売数量の増加

(財務数値の表示は端数切捨て、内訳は主要項目のみ記載)

4. 連結業績予想（2019年11月期予想）

（単位：百万円）

	2018年11月期 実績	2019年11月期		
		予想	対前期比 増減額	対前期比 増減率(%)
連結売上高	115,440	125,200	9,759	+8.5%
経常利益	2,612	2,800	187	+7.2%
売上高経常利益率(%)	2.3	2.2	△0.1	-
(経常利益に含まれる為替影響額※)	(△59)	-	-	-
親会社株主に帰属する 四半期(当期)純利益	1,784	1,930	145	+8.2%
売上高当期純利益率(%)	1.5	1.5	0.0	-
一株当たり四半期 (当期)純利益(円)	364.62	394.16	29.54	
為替レート(円/USD)	110.47	-	-	
為替レート(円/EURO)	130.91	-	-	

（財務数値の表示は端数切り捨て）

※経常利益に含まれる為替影響額：当社は外貨為替会計処理基準における原則法を採用しているため、為替ヘッジの影響が売上原価と営業外損益の両方に計上されます。そのため売上原価と営業外損益両方に対する為替ヘッジの影響額を記載しております（詳細はP31以降の参考資料をご覧ください。）

参考資料：為替関連

■ 当社は基本的に為替リスクを負わないビジネスモデル

海外仕入先との外貨建て仕入契約締結と同時に、国内顧客と円貨の販売契約締結。

その際、仕入外貨額に対する為替予約をすることで為替リスクをヘッジしている。

■ 但し、当社は外貨為替会計処理基準における原則法を採用しているため、

会計上の表示が特徴的

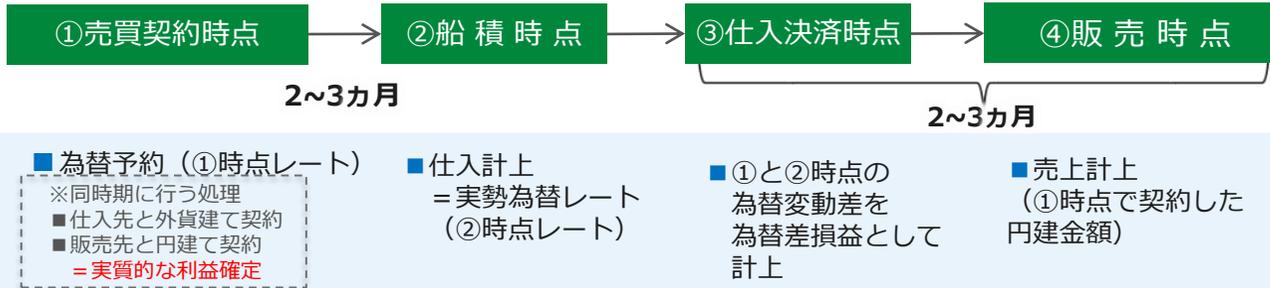
その特徴は、①為替差損益が売上総利益と営業外損益の表示の両方に影響し、

また②営業取引が期をまたがった場合、期間損益に影響を与える可能性がある。

しかしながら、最終的には当初の為替レートにより想定された経常利益と同額となるため、実質的な利益に影響はない。

売買取引のイメージ（為替の影響）

為替レートが変動しても、実質的な利益には影響しない。



処理

取引終了時（④まで終了）
 ④の販売まで終了した時点では、①～④時点の処理が通算され、①時点の実質的利益及び実質的原価と同額が会計上も計上される。

取引が途中で決算をむかえた場合
 ③時点と④時点の間に期末をむかえた場合、先行して、為替差損益(営業外)が計上される。

為替レート
変動なし



為替レート
円安



③時点では為替差益が営業外利益として先行して計上。
 →①時点の為替予約の金額より、②時点の仕入価格が高くなるため

為替レート
円高



③時点では為替差損が営業外損失として先行して計上。
 →①時点の為替予約の金額より、②時点の仕入価格が安くなるため